

## 株 式 取 扱 規 則

### 第 1 章 総 則

#### (目 的)

第 1 条 当社における株主権行使の手続きその他株式に関する取扱いについては、株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）または株主が振替口座を開設している証券会社、銀行または信託銀行等の口座管理機関（以下「証券会社等」という。）が定めるところによるほか、定款に基づきこの規則の定めるところによる。

#### (株主名簿管理人)

第 2 条 当社の株主名簿管理人および株主名簿管理人事務取扱場所は、次のとおりとする。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目 3 番 3 号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目 3 番 3 号

みずほ信託銀行株式会社 本店

### 第 2 章 株主名簿への記録等

#### (株主名簿への記録)

第 3 条 1. 株主名簿記載事項の変更は、総株主通知等機構からの通知（社債、株式等の振替に関する法律（以下「振替法」という。）第 154 条第 3 項に規定された通知（以下「個別株主通知」という。）を除く。）により行なうものとする。

2. 前項のほか、新株式発行その他法令に定める場合は、機構からの通知によらず株主名簿記載事項の変更を行なうものとする。

3. 株主名簿は、機構が指定する文字・記号により記録するものとする。

#### (株主名簿記載事項等に係る届出)

第 4 条 1. 株主名簿に記録される者（以下「株主等」という。）は、その氏名または名称および住所等を機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

2. 前項の規定にかかわらず、証券会社等または機構を通じた届出の対象となっていない事項については、当社の定める書式により株主名簿管理人宛に届け出るものとする。

#### (法人株主等の代表者)

第 5 条 法人である株主等は、その代表者 1 名を機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

**(共有株主の代表者)**

第6条 株式を共有する株主は、その代表者1名を定め、共有代表者の氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

**(法定代理人)**

第7条 株主の親権者および後見人等の法定代理人は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて届け出るものとする。変更または解除があった場合も同様とする。

**(外国居住株主等の通知を受けるべき場所の届出)**

第8条 外国に居住する株主等は、日本国内に常任代理人を選任するか、または日本国内において通知を受けるべき場所を定め、常任代理人の氏名もしくは名称および住所または通知を受けるべき場所を、機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて届け出るものとする。変更または解除があった場合も同様とする。

**(機構経由の確認方法)**

第9条 当社に対する株主等からの届出が証券会社等または機構を通じて提出された場合、株主等本人からの届出とみなす。

### 第3章 株 主 確 認

**(株主確認)**

第10条 1. 株主（個別株主通知を行なった株主を含む。）が請求その他株主権行使（以下「請求等」という。）をする場合、当該請求等を本人が行なったことを証するもの（以下「証明資料等」という。）を添付し、または提供するものとする。ただし、当社において本人からの請求等であることが確認できる場合はこの限りでない。

2. 当社に対する株主または次項に定める代理人からの請求等が、証券会社等または機構を通じてなされた場合は、株主または代理人本人からの請求等とみなし、証明資料等または次項に定める当該委任状が株主本人により作成されたことを証するものは要しない。

ただし、当社が必要と認める場合には、証明資料等を請求することができる。

3. 代理人により請求等をする場合は、株主が署名または記名押印した委任状および当該委任状が株主本人により作成されたことを証するものを添付するものとする。委任状には、受任者の氏名または名称および住所の記載を要するものとする。

4. 前項に定める代理人は、自己が受任者であることを証するものを添付するものとする。ただし、証券会社等または機構を通じて請求等がなされた場合には、当社が必要と認める場合を除き、自己が受任者であることを証するものの添付を要しない。

### 第4章 株主権行使の手続

**(電子提供措置事項の書面交付請求および異議申述の方法)**

- 第 10 条の 2 1. 会社法第 325 条の 5 第 1 項の規定により電子提供措置事項を記載した書面の交付を請求するときは株主名簿管理人または証券会社等および機構を通じて行なうものとし、同条第 5 項の規定により異議を述べるときは、株主名簿管理人を通じて行なうものとする。
2. 前項の請求または異議を株主名簿管理人を通じて行なう場合、株主名簿管理人の定めるところによるものとし、前項の請求を証券会社等および機構を通じて行なう場合、証券会社等および機構が定めるところによるものとする。

**(少数株主権等)**

- 第 11 条 振替法第 147 条第 4 項に規定された少数株主権等を当社に対して直接行使するときは、個別株主通知の申出をしたうえ、署名または記名押印した書面により行なうものとする。

**(単元未満株式の買取請求の方法)**

- 第 12 条 単元未満株式の買取請求をするときは、機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて行なうものとする。

**(買取価格の決定)**

- 第 13 条 1. 前条の買取請求の買取単価は、買取請求が株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。
2. 前項による買取単価に買取請求株式数を乗じた額をもって買取価格とする。

**(買取代金の支払)**

- 第 14 条 1. 当社は、前条により算出された金額を買取代金とし、当社が別途定めた場合を除き、機構の定めるところにより買取単価が決定した日の翌日から起算して 4 営業日目に支払うものとする。
2. 買取請求者は、その指定する銀行預金口座への振込またはゆうちょ銀行現金払による買取代金の支払を請求することができる。

**(買取株式の移転)**

- 第 15 条 買取請求を受けた単元未満株式は、前条による買取代金の支払または支払手続を完了した日に当社の振替口座に振り替えるものとする。

**(単元未満株式の買増請求の方法)**

- 第 16 条 単元未満株式を有する株主が、その有する単元未満株式の数と併せて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを請求（以下「買増請求」という。）するときは、機構の定めるところにより、証券会社等または機構を通じて行なうものとする。

**(自己株式の残高を超える買増請求)**

- 第 17 条 1. 同一日になされた買増請求の合計株式数が、当社の保有する譲渡すべき自己

株式数（特定の目的で保有している自己株式数を除く。）を超えているときは、その日におけるすべての買増請求は、その効力を生じないものとする。

2. 当社が保有する譲渡すべき自己株式が 500 株を下回ったときは、2,000 株を上回る日まで買増請求の取扱いを停止するものとする。

**（買増請求の効力発生日）**

第 18 条 買増請求の効力は、買増請求が株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日に生じるものとする。

**（買増価格の決定）**

第 19 条 1. 買増単価は、買増請求の効力発生日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

2. 前項による買増単価に買増請求株式数を乗じた額をもって買増価格とする。

**（買増株式の移転）**

第 20 条 買増請求を受けた株式数に相当する自己株式は、機構の定めるところにより、買増請求をした株主が証券会社等を通じて、買増代金が当社所定の銀行預金口座に振り込まれたことを確認した日に、買増請求をした株主の振替口座への振替を申請するものとする。

**（買増請求の受付停止期間）**

第 21 条 1. 当社は、毎年次に掲げる日から起算して 10 営業日前から当該日までの間、買増請求の受付を停止する。

(1) 3 月 31 日

(2) 9 月 30 日

(3) その他機構が定める株主確定日（機構が定める株式等の振替に関する業務規程第 144 条に定める株主確定日のことをいう。）等

2. 前項にかかわらず、当社が必要と認めるときは、別に買増請求の受付停止期間を設けることができるものとする。

## 第 5 章 特別口座の特例

**（特別口座の特例）**

第 22 条 特別口座の開設を受けた株主の本人確認その他特別口座に係る取扱いについては、機構の定めるところによるほか、特別口座の口座管理機関が定めるところによるものとする。

## 第 6 章 株主提案権行使に関する取扱い

**(株主提案権など株主の権利の行使方法)**

- 第 23 条 1. 株主は、法令に基づき、取締役に対して、株主総会の招集の請求、一定の事項を株主総会の目的とするものの請求、または、株主総会の目的である事項につき当該株主が提出しようとする議案の要領を株主に通知することの請求など株主の権利を行使する場合は、書面をもって行なうこととする。
2. 株主は、400 字以内の提案理由を記載した書面（以下「提案概要」という。）を当社に提出するものとする。議案の提案理由が 400 字を超える場合は、当社は提案概要の提出を当該株主に求め、または、当社においてその概要を作成することができる。

**第 7 章 総株主通知等の請求****(当社による総株主通知の請求)**

第 24 条 当社は、次に定める場合のほか正当な理由がある場合には、総株主通知を機構に請求することができる。

- (1) 当社が、法令、有価証券上場規程、定款その他の規定（以下「法令等」という。）に基づき株主等に対して通知するために必要があるとき。
- (2) 当社が、法令等に基づき、株主等に関する情報を、公表し、または官公署もしくは証券取引所に提供するために必要があるとき。
- (3) 当社が、株主共通の利益のためにする行為をしようとするとき。
- (4) 上場廃止、免許取消しその他当社または株主に損害をもたらすおそれがある事態が生ずるのを避けるために必要があるとき。
- (5) 取締役会で定める一定時点における株主の株式保有状況を株主名簿に反映させることが適当であると判断したとき。

**(当社による情報提供請求権の行使)**

第 25 条 当社は、次に定める場合のほか正当な理由がある場合には証券会社等または機構に対して、振替法第 277 条に規定する請求を行なうことができる。

- (1) 株主等の同意があるとき。
- (2) 株主と自称する者が株主であるかどうか確認するために必要があるとき。
- (3) 株主が株主権の行使要件を充たしているかどうかを確認するために必要があるとき。
- (4) 当社が、法令等に基づき、株主等に関する情報を、公表し、または官公署もしくは証券取引所に提供するために必要があるとき。
- (5) 上場廃止、免許取消しその他当社または株主に損害をもたらすおそれのある事態が生ずるのを避けるため必要があるとき。
- (6) 特定の者が株主として請求等を行なう旨当社が認知したとき。

**付 則**

(施 行)

2009年10月1日施行。

2010年4月1日第11条改正。

2016年6月28日規定名称、第1条、第15条、第24条本文および第25条本文改正。

2017年4月1日西暦表記に変更。

2021年11月22日第2条改正。

2022年9月1日第10条の2新設。